

平成 23 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：平成 23 年度共同利用研究成果発表会
英文：Workshop on Inter-University Researches Program

研究代表者 東海大理・教授・西嶋恭司
参加研究者 宇宙線研究所・教授・梶田隆章
他共同利用研究者

研究成果概要

平成 23 年度の共同利用研究成果発表会を、平成 23 年 12 月 16 日（金）と 17 日（土）の 2 日間に渡って宇宙線研究所大セミナー室で開催した。本発表会は宇宙線研究所の共同利用研究として採択された研究課題の成果報告の場であり、今年度は 43 件の成果発表講演（10 分～40 分）があった。さらに、研究会開催に関する採択課題 4 件の報告もまとめて行われた。これらの発表内容は、宇宙線、宇宙物理・宇宙論、素粒子物理から、気象、環境放射能、地殻活動、生態系に及び極めて多彩であり、その多様性は研究所の共同研究の幅広さを示している。発表会にはおよそ 100 名の共同利用研究者が参加し、それぞれの研究成果を報告するとともに、議論を通じて宇宙線研究のさらなる発展と将来の展望を得る、という所期の目的は十分達せられた。

なお、発表会の講演資料は以下のウェブサイトに掲載されている。

http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/infomation/workshop/2011/kyodoriyo/Program_H23.html

また、各講演の概要は、ICRR ニュースに掲載予定である。

整理番号